

このコーナーでは産業保健に関するクイズを出題しています。正解者には右ページにご紹介します、『「ストレスチェック」導入ガイドブック』と『嘱託産業医のためのストレスチェック実務 Q&A』を抽選で各5名様にプレゼントいたします。解答および当選者は、次号第85号（7月号）に掲載させていただきます。

Q1: 高齢労働者の労働災害の特長に関する次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- ① 平成26年の休業4日以上死傷災害の年齢各層別発生状況（千人率）をみると、50歳代では千人率がかつ最も低い30歳代と比べ1.5倍程度となり、60歳代ではさらに高くなっている。
- ② 高齢労働者は、一般的に、豊富な知識と経験を持っていること、業務全体を把握した上での判断力や統率力を備えていることが多いなどの特徴があるが、一方で加齢にともなう心身機能の低下が現れ、労働災害発生の要因の一つとなっている。
- ③ 平成26年の雇用労働者全体のうち50歳以上の労働者の占める割合と、50歳以上の高齢労働者の休業4日以上死傷災害全体に占める割合は、同程度の35%である。

Q2: 高齢労働者の視覚機能の特徴に配慮した作業環境に関する次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- ① 焦点調整可能な範囲が狭いので文字サイズを小さくする。
- ② グレアを感じやすいので、表示板等への映り込みを

防止する。

- ③ コントラスト感が低下するので、掲示物を高いコントラストに改善する。また、背景色と関係のある色を避ける。

Q3: 「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」（平成28年2月23日厚生労働省公表）に関する次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- ① 治療と職業生活の両立支援は、私傷病である疾病に関わるものであることから、労働者本人から支援を求める申出がなされたことを端緒に取り組むことが基本となる。
- ② 治療と職業生活の両立支援を行うためには、症状、治療の状況等の疾病に関する情報が必要となるので、事業者は必要な情報であれば主治医から取得することができる。
- ③ 事業者は、労働者が治療をしながら就業の継続が可能であると判断した場合、業務によって疾病が増悪することがないように就業上の具体的な措置や配慮の内容およびスケジュール等についてまとめた計画（両立支援プラン）を策定し、就業上の措置等を決定し、実施することが望ましい。

《応募先》 sanpo@honbu.johas.go.jp

《応募期間》 平成28年4月1日～4月30日

《解答》 平成28年7月第85号にて掲示します。なお、ホームページにて5月に解答・解説を掲示します。

《注意事項》

※当選通知はEメールにて行いますので「メールアドレス」は必ずご記入ください。

※賞品の発送のために住所・氏名・電話番号・ご希望のタイトルをご記入願います。

※ご意見・ご感想もあわせてご記入ください。

《個人情報保護方針》

・ご提供いただいたお名前・ご住所などの個人情報は、「賞品の発送」のために利用させていただきます。

・上記の利用目的の範囲内で、個人情報および配送業者を含む委託先会社に、開示・提供することがありますが、個人情報保護法を遵守させ、適法かつ適正に管理させていただきますので、予めご理解とご了承をいただけますようお願いいたします。

・回答者は、ご本人の個人情報について、個人情報保護法に基づいて開示、訂正、削除をご請求いただけます。その際は下記窓口までご連絡ください。

独立行政法人労働者健康安全機構情報公開・個人情報窓口

電話：044-556-9825（受付時間9：00～17：00）

／土・日・祝日を除く

ホームページ：http://www.johas.go.jp

・個人情報の取り扱い全般に関する当機構の考え方をご覧になりたい方は、労働者健康安全機構の個人情報保護のページをご覧ください。
・賞品発送のために使用した個人情報は、当機構の定める方法に基づき全て消去いたします。

◆ 83号のクエスチョン当選者 ※83号の解答：Q1 ①、Q2 ③、Q3 ②

当選者：一色裕治さん／愛媛県、稲生哲也さん／愛知県、遠山正隆さん／宮城県、黒木和志郎さん／大阪府、鈴木真子さん／奈良県、谷本浩朗さん／神奈川県、永瀬啓子さん／千葉県、R・Tさん／兵庫県、その他2名

編集委員（五十音順・敬称略）

委員長 相澤好治 北里大学名誉教授
石渡弘一 神奈川産業保健総合支援センター所長
小川康恭 前独立行政法人労働安全衛生総合研究所理事長
加藤隆康 株式会社グッドライフデザイン技術顧問
亀澤典子 独立行政法人労働者健康安全機構産業保健担当理事
河野啓子 学校法人暁学園四日市看護医療大学名誉学長

高田 昂 独立行政法人労働者健康安全機構名誉医監
武田康久 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
浜口伝博 ファームアンドブレイン社代表／産業医
東 敏昭 学校法人産業医科大学学長
道永麻里 公益社団法人日本医師会常任理事